

優勝インタビュー 男子優勝 菊名ミニバスケットボールクラブ

コーチインタビュー 加藤 龍雄ヘッドコーチ

Q 優勝おめでとうございます。大会を振り返っていかがでしたか？

A 春の大会以降も県外のチームに対して「挑戦」という言葉をテーマにやってきた。秋に向けて他のチームの伸びも感じていたが改めて実感しました。

Q 決勝戦は接戦になりましたが、どんな気持ちでしたか？

A 前半は同点で折り返した。そういうこともあるだろうと想定できていたので心の準備もあった。きっと焦ることなくやってくれるだろうと思っていたし、子どもたちも落ち着いていたように見えた。その部分は成長を感じた。

Q 春からのよくなったことはほかにどんなことがありましたか？

A 全体的に少しずつDF力がついてきたと思う。⑩、⑥、⑤、⑫と春に比べ成長してきたと思う。今日はあまり出なかったがセンターからのあわせが高まってきたと思う。

Q 今後の目標と課題は？

A まず目指すは関東予選で優勝することが目の前の目標です。ハーフコートで確実に得点できるように力をつけていきたいです。

選手インタビュー ④小泉 湧也さん ⑦内田 蒼さん

Q 優勝おめでとうございます。感想を教えてください。

A ④春に続いて連覇できてうれしいです。
⑦春と比べて自分たちのチームワークがよくなってきていて、決勝も3ピリまで接戦だったけど4ピリでしっかりと突き放せて、勝ててよかったです。

Q 今日の試合はどうでしたか？

A ④受けるのではなくチャレンジする気持ちで臨んでいた。
⑦みんなが得点できるようになってきているし、⑤がリバウンドをとってくれて安心してプレーできた。

Q 今大会までどんなことをがんばってきましたか？

A ④夏には前半の10人で、前半から勝てるように意識してレベルアップを図ってきた。

Q 今後の目標を教えてください

A ④関東予選で優勝して関東大会に出たいです。
⑦秋の県大会ではゴール下でのプレーをきょう以上に確実にしてしっかりと勝ち抜いていきたいです。



コーチインタビュー 三橋 雅彦ヘッドコーチ

Q 優勝おめでとうございます。大会を振り返っていかがでしたか？

A 目標としてはなんとか男女とも準優勝まではいきたいと考えていた。
(県大会の日程と運動会が重なってしまうので) 相手にかかわらず自分たちが練習してきたことを出し切ろうと考えていた。男子は15点差以内ならOKだと思っていたのであれだけやれて大満足です。女子は決勝までいけたことに満足しているし、練習の成果が試合で出るようになってきたことがうれしい。10人で戦えるチームになってきたことに成長を感じています。

Q この大会までにやってきたこと、意識的に取り組んできたことはなんでしたか？

A 練習では男子に相手にしてもらい、スピードや技術に対抗しようと頑張ってきたことがゲームで出せた。チーム力の勝利だと思う。

Q 決勝戦は接戦になりましたがどんな気持ちでしたか？

A 終盤追い上げられる展開だったが、子どもたちが我慢したり粘ったりするいい経験になったと思う。うちは試合数が少ないのでいい流れと悪い流れの時間があるということをしかりと学ぶ経験ができた。

Q 今後の課題は？

A 子どもたちが大会に対して、コミュニケーションをとってお互いを高めあうようになってほしい。そうすれば結果はついてくると思う。技術面ではスクリーンのオフenseとディフェンスを強化していきたい。

選手インタビュー ④逸見春奈さん ⑤本間茜さん ⑥福田彩花さん

Q 優勝おめでとうございます。感想を教えてください。

A ④いいところと悪いところがあり、誰かが悪かったらほかの人がカバーするというチームで戦うことができたと思います。
⑤はじめからモチベーションが高く、気持ちが途切れることがなくできたことが優勝につながりました。
⑥いいところも悪いところもあり、課題はまだまだあるけど優勝できてよかったです。

Q 春のベスト4から秋は優勝。優勝できた勝因を教えてください。

A ④優勝する気で臨んでいた。みんなのモチベーションが高かったからだと思います。
⑤追い上げられたときは心配になったが、みんなの気持ちが一つになったからだと思う。
⑥目標はリベンジしての優勝。体力勝負だった。プレスの練習など目的をもって取り組めたこと。
⑤DF面で1線が下がらないようにボールに触れる位置でつくことを練習してきました。

Q 今後のがんばりたいことや目標を教えてください

A ④県大会での優勝です。⑤横浜1位の実力を見せたいです。⑥自信をもって頑張りたいです。

